

ウエットブルフランクパッケージ

背景

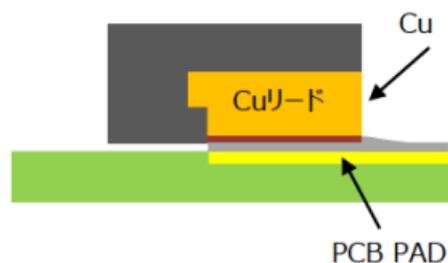
自動車の安全性・信頼性を向上させるために、自動車メーカーでは組立後の自動外観検査（AVI）を義務付けています。しかしながら、QFN等のノンリードパッケージでは、パッケージ上面からでは端子が露出していないために、プリント回路基板（PCB）に正しく実装されているかどうかの判断が非常に困難です。QFNパッケージの問題点は、端子の側面が露出しているもののCu無垢のために酸化しやすく、はんだ濡れ性が悪いため実装性の低下を招くことです。

そこで求められているのが端子側面の一部までめっきを施すことで、はんだ濡れ性を確保する技術です。

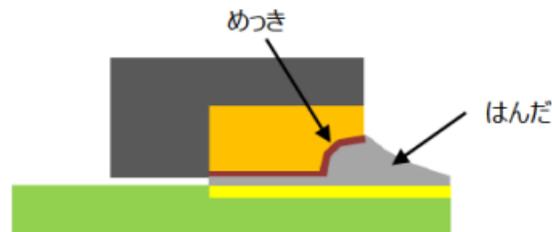
⇒Wettable Flank

構造比較(標準品 vs ウエットブルフランク)

標準QFN



ウエットブルフランクQFN

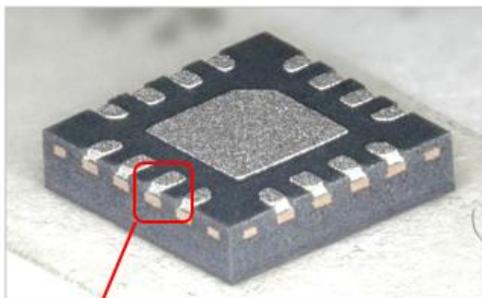
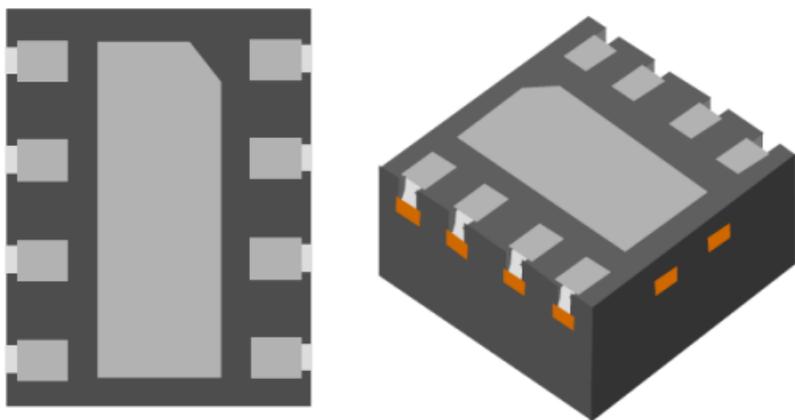


⇒良好なサイドフィレットを形成可能

ウェットブルフラックパッケージ

ラインナップ

■ 段差リードタイプ



■ デンプルタイプ

開発中

